

皆さんにおかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、農作物の作柄はおおむね良好で、観光入込数も堅調に推移し、仲洞爺では醸造所が操業を開始するなど明るい話題とともに、消防団やスポーツ少年団が、全道、全国大会で活躍し、仲洞爺獅子舞の復活、ケミヤルビ市訪問団が来訪し交流を深めるなど、地域の元気を感じる一年でした。

これらは、町民の皆さまのたゆまぬご尽力の賜物であり、心から敬意を表し、感謝申し上げます。

町政運営では、昨年7月、壮瞥中学校の新校舎が竣工し、跡地を活用する建部改良住宅の移転建替や、道の駅の機能拡充、昭和新山地区の魅力化、農業農村づくりなど、将来につながる事業を計画的に推進しています。

人口減少や物価高、気候変動といった課題に向き合い、国の施策やデジタル技術を活用し、未来を見据えた取組を着実に進めてまいります。

本年の干支は「午（うま）」。勢いよく駆け抜ける午（うま）のように、活力と情熱に満ちた一年になるよう、町民の皆さんとともに、職員一丸となって、課題解決に向け、挑戦と前進の気持ちをもって、壮瞥町の未来を力強く切り拓いてまいります。

ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆さんにとって「健康で笑顔あふれる年」となりますよう祈念し、新年のごあいさつといたします。

令和8年1月1日 壮瞥町長 田鍋 敏也

壮瞥町のホームページを訪問いただきありがとうございます。

くだもの里、壮瞥町は、りんご、ぶどうなど「くだもの狩り」のシーズンを迎えた。

第49回りんごまつりは、アニメゲームキャラクターとコラボした「スタンプラリー形式」で、10月10日から11月16日まで開催されるのに加え、物産市を10月19日開催されます。道の駅や直売所、温泉宿や昭和新山の土産店、ロープウェイ、熊牧場、飲食店等、町内あげてご来訪をお待ちしております。

9月定例議会で令和6年度の決算が認定されました。令和3~5年度、継続していた実質単年度収支の黒字は確保できず、基金保有額も5年振りに減額となりました。この要因は、過疎法に基づく固定資産の課税免除額に関し、地方交付税の算定が翌年度処理となつたため、実質、約4千700万円の歳入減が生じたためと分析しております。

概要は広報10月号の特集P4~7に掲載しています。

これからも、予算の適切な執行管理に努めることを基本に、国や道の施策の活用や、財源の確保を図り、改善に努め、健全な財政運営のもと、課題解決に向け、計画的に施策を推進し、「笑顔あふれる元気なまち～そうべつ～」の実現に向け、尽力してまいります。

温かいご支援をよろしくお願いいたします。

令和7年10月1日 壮瞥町長 田鍋 敏也

壮瞥町のホームページを訪問いただきありがとうございます。

昨年度の壮瞥町の観光客入込数は179万人で、コロナ前の水準まで回復しました。その内、宿泊者数は31万人で、コロナ前（令和元年度）を上回りました。事業者の皆さまの誘客・営業努力の賜物と敬意を表し感謝を申し上げます。

壮瞥中学校の新校舎が竣工しました。昭和51年度に整備され、老朽化が課題となっていた校舎については、平成29年4月の久保内中学校との統合を見据え、平成26年から教育委員会を中心に、整備の検討がなされてきたところです。

平成30年3月に基本的な方針を示した後、財政の健全化に取り組み、文部科学省などとの協議を進め、令和3年度には基本構想を策定し、令和5年度から工事に着手し、このほど完成しました。

新校舎は壮瞥小学校と渡り廊下で結ばれ、保育所にも隣接していることから、新たな環境のもとで、保・小・中連携がより一層強固になるものと期待しております。

これまで、ご理解とご協力をいたいたいた皆さまに感謝を申し上げます。

これからも、第5次壮瞥町まちづくり総合計画に位置付けた施策を着実に推進し、「笑顔あふれる元気なまち～そうべつ～」を創ってまいります。

応援をよろしくお願ひします。

令和7年7月1日 壮瞥町長 田鍋 敏也

壮瞥町のホームページを訪問いただきありがとうございます。

全国各地で森林火災が発生しております。被災された皆さんに心からお見舞い申し上げます。一日も早い復旧、復興を祈念するところであります。

伊達市、洞爺湖町と本町にまたがる活火山有珠山は20世紀4回噴火しています。平成12年（2000年）3月31日の噴火から、25年が経過しました。

3市町では、噴火の再来に備え、さまざまな取組を実施しておりますが、これからもソフト・ハード両面から「火山と共生する一人・街づくり」を推進し、安全で安心して暮らせる地域の創生を、関係機関、住民の皆さんと連携し、推進していく考えです。

雪解けがすすみ、待望の春が訪れ、令和7年度がスタートしました。第5次壮瞥町まちづくり総合計画や3月の定例議会でお示しました町政執行方針に基づき、議決をいただいた予算を着実に執行し、壮瞥町を「次世代にしっかりと継承」していくため、本年度も取り組んでまいります。

皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

令和7年4月1日 壮瞥町長 田鍋 敏也